



平成 28 年度チャレンジ・ザ・日本一「富士登山」研修事業

# 新たな自分さがしの旅

富士山の頂を目指した 16 人の物語。

曾於市教育委員会では、心身ともにたくましく、夢実現にチャレンジする青少年の育成を目的に「第10回チャレンジ・ザ・日本一『富士登山』研修事業」を実施しました。7月2日の事前研修では、登山道が富士山に似た高千穂峰登山を行いました。濃霧と強風により途中で引き返す研修となりました。本研修は、24日から26日までの2泊3日の行程で、世界文化遺産である富士登山を中心に行いました。

参加者は小学5年生から高校1年生までの16人と引率者4人の計20人。富士登山では5合目から登り始め、気温や気圧の急な変化、険しい岩肌の登山道にもめげず、8合目（3200m）の山小屋に到着しました。

仮眠を取り、午前1時に山頂を目指し出発しました。寒く暗い登山道をヘッドライトで足元を照らしながら列を崩さず一歩一歩山頂に近づいていきました。高山病により8合目での待機者もありましたが、友達への優しい思いを背負って、12人

が見事登頂を果たしてくれました。

山頂では、手を取り合ってお互いの頑張り称え合う者、無言で山頂に着いた喜びをしみじみと噛みしめる者と様々でしたが、全員の目に強い輝きを感じました。

山頂はあいにくの小雨。しかし、雲のすきまから微かに見える朱色のご来光が見え、その瞬間、参加者からは歓声が上がりました。日本一の山を制覇した喜びと「やればできるんだ」という自信をしっかりと感じることができた富士登山でした。

また、登山の他に東京スカイツリー・国会議事堂の見学などを行い、充実した研修に参加者は十分満足していました。

『新たな自分さがしの旅』をテーマにした今回の研修で、世界文化遺産の富士山から様々なことを学びました。心身ともに大きく成長した参加者の今後の学校や地域での活躍が期待されます。



国会議事堂



山頂で記念撮影



深夜の登山



険しい登山道